

## ◇編集後記◇

今年度から新編集委員会がスタートしました。堤編集委員長の下、Journal of Occupational Health (JOH) とともに産業衛生学雑誌の編集作業が始まっています。JOH が国際誌として成長する中で学会和文誌のとしての本誌のあり方には少し難しい面があります。お気づきかも知れませんが、最近産衛誌に掲載される論文が少なくなり、紙数の少ない号もあります。しかし、掲載論文の質を落とすことはできないため、ある程度の数の投稿論文の掲載をお断りしています。本誌がこの分野における和文学術論文の発表の場として貴重な位置を占めていることをしっかりと認識し、質の高い論文を発表する場を提供することは主要な任務と考えています。

また、本学会は公益法人となり、活動に占める社会貢献の位置づけも高くなることも視野に入れた内容の検討も必要です。ご承知のように、労働安全衛生法の一部を改正する法律が第 186 回国会で成立し、いわゆるストレスチェックが導入されることが決まりました。圓藤理事長はこの法案の審議過程の 6 月 13 日、衆議院厚生労働委員会でも参考人として本学会を代表して意見を述べましたが、その中には政府への要望とともに本学会で取り組

まなければならない課題が挙げられています。例えば事業所の中にはすでに産業医等によるストレスチェックの実施が効果的に運用されている先進事例も多く見られるので、これらの活動をより広く展開すること、さらにチェック項目の検討や科学的有効性の検証などがあります。good practice samples, 原著論文の形で多くの産業保健関係者の目に触れるものを作り、新制度導入を機にメンタルヘルスに関わる産業保健発展の一翼を本誌が担うことができればと思います。

学術論文以外にも本誌が果たせる役割として、部会・研究会からの成果物の発表があります。近く非正規雇用と健康の問題に関する連載を開始する予定ですが、これは非正規雇用研究会の活動から生まれた成果が基礎となっています。

最も重要な役割である学術論文の掲載を基本としながらも、多岐にわたる日本産業衛生学会の活動を余すところなく伝えることが本誌の役割であり、新編集委員会としてあらためて誌面の充実という活動の原点を確認しなければならぬと考えています。

(柴田英治)

## 「産業衛生学雑誌」編集委員会

委員長：堤 明純（北里大）  
副委員長：柴田英治（愛知医大）

編集委員：五十嵐千代（東京工科大）、市原 学（東京理科大）、梅津美香（岐阜県立看護大）、榎原 毅（名古屋市立大）、大神 明（産業医大）、影山隆之（大分看護大）、小島原典子（東京女子医大）、上島通浩（名古屋市立大）、萱場一則（埼玉大）、車谷典男（奈良医大）、近藤尚己（東京大）、榊原久孝（名古屋大）、佐々木美奈子（東京医療保健大）、島津明人（東京大）、須賀万智（東京慈恵医大）、杉森裕樹（大東文化大）、諏訪園靖（千葉大）、高橋 謙（産業医大）、高尾総司（岡山大）、田中 茂（十文字学園女子大）、玉腰暁子（北海道大）、中田光紀（産業医大）、中村裕之（金沢大）、錦戸典子（東海大）、西田和子（久留米大）、野見山哲生（信州大）、原田浩二（京都大）、平工雄介（三重大）、廣 尚典（産業医大）、藤野善久（産業医大）、堀口兵剛（北里大）、三宅達郎（京都市保健福祉局）、毛利一平（ひらの亀戸ひまわり診療所）、森岡郁晴（和歌山医大）、森河裕子（金沢医大）、森田 学（岡山大）、大和 浩（産業医大）

客員編集委員：田中紀子（国立国際医療研究センター）、東 尚弘（東京大）、八幡勝也（産業医大）

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目29番地8 公衆衛生ビル4階  
電話 03-3356-1536 ファックス 03-5362-3746 振替 東京 00100-7-133495 番